

(羽田空港での救急活動) に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: 2020年12月21日 ~ 2021年3月31日

〔研究課題〕 羽田空港での救急要請に対する救急隊の現場活動について

〔研究目的〕 2021年東京オリンピックパラリンピック開催を控え、訪日外国籍傷病者に対する救急医療について活発な議論が行われています。これを契機に今後も増加する可能性の高い外国籍傷病者に対して、迅速な対応が行えるようにしていくために、現状の救急活動についての実態調査を行い問題点などの傾向を把握し、改善につなげていきます。

〔研究意義〕 羽田空港で発生した救急事案についての傾向を把握し、改善点等があれば検討することで、今後の政策提言につなげてゆきます。

〔対象・研究方法〕 2017年の1年間で、羽田空港にて救急要請された事案について、後方視的に調査を行いました。調査内容は救急要請時間、傷病者属性、現場活動時間、医療機関への連絡時間のみとしています。

〔研究機関名〕

帝京大学大学院医療技術学研究科 救急救護学専攻 前期博士課程

〔個人情報の取り扱い〕

個人が特定されないようデータ加工を行った後に調査、検討を実施しています。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 大学院医療技術学研究科救急救護学 教授 小菅 宇之

研究分担者: 大学院医療技術学研究科救急救護学専攻 前期博士課程 井上 拓海

住所: 板橋区加賀2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 41918]